

留 学 報 告 書

記入日:2016年8月1日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科
留学先国	中華人民共和国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 華東師範大学 現地言語: 华东师范大学
留学期間	2015年9月～2016年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	人文社会学部法学院 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2016年7月13日
明治大学卒業予定年	2017年3月
留 学 先 大 学 に つ い て	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月1日～1月上旬 2 学期:2月末～6月末 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	33, 298人(2016年3月)
創立年	1951年

留学費用項目	現地通貨(CHY)	円	備考
授業料	6,000	120,000 円	
宿舍費	12,000	240,000 円	
食費	10,000	200,000 円	
図書費	750	15,000 円	
学用品費	250	5,000 円	
教養娯楽費	2,500	50,000 円	
被服費	800	16,000 円	
医療費		円	不明
保険費	5,300	106,000 円	形態:
渡航旅費	2,800	54,000 円	
雑費	500	10,000 円	
その他	1,200	24,000 円	学校主催研究旅行費
その他		円	
その他		円	
合計	42,000	840,000 円	1CHY=20 日本円で計算

渡航関連

渡航経路: 直行便	
渡航費用	
チケットの種類	エコノミークラス
往路	36,000円(春秋航空)
復路	18,000円(吉祥航空)
合計	54,000円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
往路: 春秋航空ホームページ、復路: qunar.com(現地旅行サイト)	

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 2人)

3)住居を探した方法:

自動申し込み

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

前期と後期でキャンパスを変更したため二つに分けて紹介する。

前期(中山北路キャンパス):宿舎は4つあり、ホテルのような国際交流センターと、マンションのような1号楼、2号楼、12号楼があった。どの宿舎になるかは国際交流事務室の教員が決める。私は国際交流センターに配属された。ホテルのような清潔感のある内外装である。部屋は3種類あり1人部屋、2人部屋、3人部屋があり、私は2人部屋であった。部屋にはベッド、学習机、クローゼット、テレビがあった。トイレ、シャワーは1フロアで共用である。設備自体は安心して使えるが、洗濯用品などは自分で買う必要があった。掃除道具などもルームメイトと相談で購入する必要がある。このキャンパスのあたりは比較的発達しており、買い物、娯楽、外食などが非常に便利である。

後期(闵行キャンパス):宿舎は2つあり、留学生宿舎と外来宿舎があった。交換留学生は原則留学生宿舎に滞在することになる。部屋は必ず1人部屋で、比較的狭い。ベッドと学習机、二つのクローゼットとベランダがある。洗濯は宿舎一階にある洗濯機で手で洗うことになるため道具が必要になる。掃除も各自道具を買って自分で行う必要がある。枕カバーやシャツなども自分で管理する必要がある。このキャンパスのあたりは、まだ開発途上であたり店は見当たらず、一番近いスーパーに行くためにバスに乗る必要がある。交通も非常に不便である。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか?大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

現地に滞在している親戚

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか?その際どのように対処しましたか?

現地の警察のホームページや現地日本大使館のホームページで情報収集した。治安が比較的良いので私が滞っている間私に対してはおろか、私が滞った地域では犯罪が一件も起きなかった。(上海市警察局発表)

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

携帯電話:私はSIMフリースマホを持っていき、現地で回線を契約した。

前期の宿舎は無料で完璧なwifiネットワークが網羅されていて便利でしたがウイルスが多かったり、VPNサービスを契約していないと日本の一部サイトが表示されないなどの不便があった。

後期はブロードバンドを各自契約する必要があり、契約は中国語でしか対応できないそうです。相変わらずVPNサービスがないと不便を感じる状態であった。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座を開けた。パスポートと留学先の入学許可証を使って口座を作る。日本から目いっぱい日本円をもって行き、親戚に預け、足りなくなるたびに取りに行って換金し、口座に入れていた。銀行カードはもともとデビットカードとしての機能がついている。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的にはない。現地のオンラインショップである淘宝で日本にあるものはほとんど買える。

卒業後の進路について

1)進路

就職 進学 未定 その他:法科大学院もしくは大学院研究科を志望

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

明治大学大学院のパンフレット、明治大学法科大学院のパンフレット、就職キャリア支援事務室

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。 留学中から明大のホームページに目を通しておいたほうがいい。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
53単位	<input checked="" type="checkbox"/> 29単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
劳动与社会保障法	労働と社会保障法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	2単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	岑峨
授業内容	労働法の基礎理論、労働契約、労働基準、労働紛争
試験・課題など	中間試験と期末試験がある。中間試験も期末試験も教室で授業時間として行われる。内容は現地学生と同じだが中間のみは留学生だけ採点基準が異なる。
感想を自由記入	中国の労働法が予想以上に厳格化していたことを知り驚いた。 教員がとても優しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国际经济法	国際経済法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	2単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(発表や学生同士の意見交流あり)(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	张颖慧
授業内容	国際経済法の基本理論を含む、国際貿易法、国際投資法、国際金融法及び国際税法の理論と実践問題
試験・課題など	中間試験と期末試験があり、中間試験は留学生は参加のみで成績をつける。期末試験は現地学生と同じ内容で、同じ採点基準である。
感想を自由記入	日本であらかじめゼミで学習した内容と似ていて理解しやすかった。 教員は留学生に対して非常に冷たい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
不動産法	不動産法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	2単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	凌维慈
授業内容	<都市計画管理法>の体系に基づく、中国の不動産権(物権)の帰属内容並びに二元性土地制度並びに不動産開発に関する都市計画、計画許可、譲渡と割譲、徴収と補償制度並びに不動産開発企業の法律規制、不動産融資と建設の制度及び借家法に関する制度
試験・課題など	期末試験のみ。試験内容は現地学生と同じで、採点基準も同じ。
感想を自由記入	教員の話すスピードが速すぎて授業についていくのが精いっぱいだった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
行政法	行政法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に135分が1回
担当教授	凌维慈
授業内容	行政の概念、行政法の概念、行政法律関係の構成と特徴、行政法律関係の主体を把握し、行政法の基本原則、及び原則と原則の関係を把握して、中国の行政行為の分類や内容、効力の理解、中国国家行政機関に対する体系構成と公務員制度の基本状況の全面理解、行政強制、行政処罰、行政許可や行政契約などの中国行政行為の各範囲に対する全面理解並びに中国の行政執行問題の分析とまとめ、行政不服審査、行政訴訟など中国行政救済制度に対する全面理解
試験・課題など	中間試験と期末試験があり、ともに現地学生と同じ内容、採点基準。
感想を自由記入	教員の話すスピードが速いうえに、内容も多く、毎週の復習が間に合わない。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
国際法	国際法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	2
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	余鋒
授業内容	国際公法の基礎理論と基礎知識の理解、国際法の基本構成と体系の理解、国際関係における国際法の各種原則規則、制度の作用及び成り立ちと発展の規律の理解、中国の対外関係、対外政策と外交実践及び制定、国内関係法の国際法根拠の改正の理解
試験・課題など	留学生のみのレポート課題(日本の国際法理論を中国語訳)と期末試験(現地学生と同じ内容、同じ採点基準)
感想を自由記入	内容は非常に多いが、教員が事例や冗談を交えて話すのでわかりやすい。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
知産法		知的財産権法	
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院		
履修期間	第二学期		
単位数	2単位		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	陈谊军		
授業内容	中国の現行著作権法、特許法、商標法、知的財産権の国際保護について		
試験・課題など	期末課題と期末試験があり、現地学生と同じ内容だが、採点基準が異なる模様。		
感想を自由記入	教員の説明が時々方言になり理解が難しい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
英米法研究(双語)		英米法研究(バイリンガル)	
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院		
履修期間	第二学期		
単位数	2単位		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	学生同士の意見交流を含む講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	郑琪		
授業内容	アメリカ憲法とイギリス憲法の基本を理解する。アメリカ憲法の講義は各テーマに亘って展開する。例えば違憲審査、言論の自由、信教の自由、平等保護などである。一方、イギリス憲法の講義は、伝統的な憲法学の文書を精読する		
試験・課題など	留学生のみ期末課題を以て期末試験とする。授業中に扱われたテーマの一つ選択し、中国語でレポートを書くものである。		
感想を自由記入	教員が中国語と英語を交えて授業するのでよく混乱してしまった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
法学名著選読(研究型課程)		法学名著精読(ゼミナール形式)	
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院		
履修期間	第二学期		
単位数	2単位		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ゼミナール形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回		
担当教授	黄欣		
授業内容	法学名著の紹介、アメリカ法学名著の要約、イギリス法学名著の概要、日本とドイツの法学名著の概要、現代外国法専門書の紹介、有名な事件の分析		
試験・課題など	期末レポートのみである。		
感想を自由記入	日本語が話せる教員であったので、発表は大変だったが安心して積極的に授業に参加できた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
刑法(总論)		刑法(総論)	
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院		
履修期間	第二学期		
単位数	3単位		
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		

授業時間数	1週間に135分が1回
担当教授	孙立红
授業内容	包括的な刑法の基本原則、効力範囲、犯罪の客体と主体の概念及びそのほかの犯罪概念
試験・課題など	期末試験のみで、現地学生と同じ内容であるが、留学生は一部問題のみを解く形式である。
感想を自由記入	教員の声小さくスピードが速いうえに板書が乱雑なので難しく感じた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
民事訴訟法	民事訴訟法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	3単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に135分が1回
担当教授	黄翔
授業内容	民事訴訟及び民事訴訟法の基礎知識と理論をふまえて、訴訟に関する基本理論や民事訴訟の基本理論、民事訴訟法関係の主体、民事裁判手続きと執行手続きなどの内容
試験・課題など	中間レポートと期末試験があり、現地学生と同じ内容だが留学生は範囲が指定される。
感想を自由記入	内容は多く、難しかったが、教員が丁寧に質問に答えてくれるので理解がはかどった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
商法	商法
科目設置学部・研究科	人文社会学院法学院
履修期間	第二学期
単位数	2単位
本学での単位認定状況	2単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が1回
担当教授	许长华
授業内容	市場経済活動における商法をその最も直接的なものとして、本科目は商法の基本理論、基本概念、基礎知識や商事法律制度の一般原則など、商法の総論部分及び企業、破産法律制度
試験・課題など	中間試験と期末試験があり、現地学生と同じ内容で同じ採点基準である。
感想を自由記入	授業中に雑談したり、試験中に他の監督教員と私語をする変わった教員であった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
中級総合課Ⅱ	中級リーディング、ライティング2
科目設置学部・研究科	対外漢語学院
履修期間	第一学期
単位数	8
本学での単位認定状況	1単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	学生同士の発表のある講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に180分が2回
担当教授	樊小玲
授業内容	リーディングとライティング。先生が決めたテーマによるプレゼンテーション。
試験・課題など	4回のプレゼンテーションと毎回の単語テスト、期末試験がある。
感想を自由記入	月一のプレゼンテーションと毎回の単語テストは大変だったが、教員が定年に説明するので非常にわかりやすい。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等（形式は箇条書きなど簡単なもので構いません）

2014年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	HSK 受験(5級合格)
10月～12月	
2015年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 1日 入学 ○ 1月 15日 入学 ○ 1月 31日 入学 ○ 2月 15日 入学 ○ 2月 28日 入学 ○ 3月 15日 入学 ○ 3月 31日 入学
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 1日 入学 ○ 4月 15日 入学 ○ 4月 30日 入学 ○ 5月 15日 入学 ○ 5月 31日 入学 ○ 6月 15日 入学 ○ 6月 30日 入学 ○ 7月 15日 入学 ○ 7月 31日 入学
8月～9月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 8月 1日 入学 ○ 8月 15日 入学 ○ 8月 30日 入学 ○ 9月 15日 入学 ○ 9月 30日 入学
10月～12月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 10月 1日 入学 ○ 10月 15日 入学 ○ 10月 30日 入学 ○ 11月 15日 入学 ○ 11月 30日 入学 ○ 12月 15日 入学 ○ 12月 31日 入学
2016年 1月～3月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1月 1日 入学 ○ 1月 15日 入学 ○ 1月 31日 入学 ○ 2月 15日 入学 ○ 2月 28日 入学 ○ 3月 15日 入学 ○ 3月 31日 入学
4月～7月	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月 1日 入学 ○ 4月 15日 入学 ○ 4月 30日 入学 ○ 5月 15日 入学 ○ 5月 31日 入学 ○ 6月 15日 入学 ○ 6月 30日 入学 ○ 7月 15日 入学 ○ 7月 31日 入学
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	一番の理由は、日本で昨今グローバル社会が進んでおり、視野を世界にまで広げなければならない社会になっており、私の学んできた国際法や国際経済法の学習をもとに、自分の学んでいる法律が世界各国の法律とどのように異なっているのか、また三年間学んだ語学力がどの程度現地の人と交流できるレベルに達したのか確かめたかったからです。そして外国の法律を学びつつ、自分の持つ語学力により磨きをかけ、今後の国際社会で活用できるようにしたかったからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学のためにした準備といえば、まずは語学試験の受験です。ある程度の語学力がなければ、たとえ語学を学びに行ったとしても授業についていくのがつらくなります。しておけば良かったと思う準備としては、現地の生活習慣や食文化の理解、ある程度の地理的知識、そして天候の変化があります。こういった知識は、現地で快適に生活するために必要不可欠です。また、物価や現地の経済状況を知っておくと、より確実な留学準備をすることができます。
この留学先を選んだ理由	私は大学で第二外国語として中国語を学んでいました。また、留学前に鈴木賢教授の中国法を履修したことでより中国の法律に興味を持ちました。中国はアメリカについて世界第二位の経済大国になったといわれており、人口も世界第一位であるといわれています。また、中国は古くから日本と文化的、経済的交流が盛んな日本から最も近い隣国です。そんな中国で、語学を学びつつ、中国の法律を学ぶことで日本と中国の懸け橋になりたいと思ったからです。
大学・学生の雰囲気	華東師範大学は広大な敷地を持ち、法学院であれば法学院棟、商学院であれば商学院棟があるように、学部ごとに建物が分かれており、さらに巨大な図書館や病院、複数の教室棟、宿舎、食堂、学生共有活動スペースなどがありました。また、緑が多く、校舎内の出入りが自由なので、多くの近隣住民がキャンパス内で散歩をする姿がよく見られます。キャンパス内では多くの清掃員や警備員が巡回しており、安全かつ清潔が保たれています。学生は非常に勤勉で、授業では必ず前方から座席が埋まっていき、授業中私語をするものは一人もいませんでした。また、スポーツも盛んで、構内にある広いグラウンドで運動している姿がよく見られます。学生はみな全寮制で、遅くまで構内で活動している学生が多いです。
寮の雰囲気	私は、前期と後期で違うキャンパスの寮に滞在しました。前期滞在了寮は、国際交流センターと呼ばれており、ホテルの上層部を利用する形になりました。部屋は二人一部屋で、すべて留学生が住んでいました。一回のフロントの向かいにはかつてカフェであったスペースがあり、そこで他国からの留学生と交流することができました。また、各階に担当の清掃員がおり、定期的に掃除をしていたり、部屋の枕カバーやシーツを交換したりしてくれるので、比較的快適に過ごすことができます。後期滞在了寮は、研究生14号宿舎と呼ばれていて、そのエリア帯は留学生宿舎である14号棟を除いて、中国人研究生(日本の大学院生に相当する学生)が居住しています。その宿舎エリアは、専用の食堂、宅配会社の支店、スーパー、雑貨屋、電器屋などがあり、必要なものは宿舎エリアを出なくても手に入り便利でした。しかし、寮自体は一人部屋なので宿舎内での交流は難しかったです。
交友関係	前期は留学生だけで中国語を学ぶ授業であったので、開始早々日本のほかの大学からの留学生と仲良くなりました。授業が進んでいくにつれて、他国からの留学生ともだいに仲良くなっていきました。中間試験後と期末試験後にはクラスでまとまって食事に行ったりもしました。また、特に仲の良かった友達とは冬休み中に旅行に行ったりもしました。後期はキャンパスが変わり、前期に知り合った多くの友達と離れ離れになってしまい、最初は非常に寂しい思いをしていました。宿舎も学生同士の交流には向いておらず、友達を作るのが極度に難しかったです。さらに履修を多くとりすぎたため、基本的に交流は授業の前後の空き時間のみとなってしまいました。後期は結局新たに友達を作ることができず、数人の現地学生と会話ができるぐらいでした。
困ったこと、大変だったこと	一番大変だったのは、言語上の交流でした。留学前にしっかりと学習したはずなのに、現地に着いたら思った以上に通じず、困ることがよくありました。例えば、前期よく利用していた食堂にはメニューがなく、そのうえ視力もよくなかったため、指さしでしか注文できず、一食に同様なものを二品食べる羽目になったり、宿舎の管理人が中国語以外通じず、部屋に不都合があったときに伝えるのが大変だったりしました。また、現地には浴槽につかる文化がなく、入浴はシャワーしかなかったため、冬場はよく体を冷やしてしまい、体調を崩しやすかったです。校内病院も利用案内がなく、非常に不親切でした。後期は無計画に多量の授業を履修してしまい、復習に追われ、生活リズムが崩れがちでした。

学習内容・勉強について	前期は中国語と英語、後期は法律を学習しました。中国語の授業は、听力(リスニング)、総合(リーディングとライティング)、口語(スピーキング)、报刊(ニュースペーパー)の四つに分かれていて、特に後ろ三つのプレゼンテーション、ペアでの会話作成、スクラップブック発表など、学生同士の自主発表によって授業が進みました。英語も基本的には中国語の授業と同じような形式で行われました。前期の教員は非常に親切で、間違えてしまった時も丁寧に指摘して直してくれます。後期の法律は現地の一年生から三年生にまたがって履修したのですが、低学年は講義形式の授業、高学年は少人数ゼミや学生同士の意見交流を取り入れた授業が多かったです。しかし、教員は基本的には留学生に対して冷たく、非常に積極的に授業に参加しないと相手にしてもらえません。
課題・試験について	前期は語学であったこともありますが、課題は寮こそ少ないですが、質に重きが置かれていたので、学習内容のところで紹介したようなプレゼンテーションや会話作り、新聞のスクラップで自分の番が回ってきたときはほぼ徹夜で取り組みました。試験は、ほとんどが授業で扱われた内容が出ますので、日々の復習が試験に直結し、努力したか否かが手によるようにわかります。後期の法律は一科目ごとの課題自体は多くなかったのですが、履修した科目が多すぎて、結果として一日中課題の消化と復習に追われていました。試験は基本的に現地の学生と同じ内容、形式で行われ、課題も含め、現地学生と同じ基準で採点されるので、基本的に努力は報われませんが、とても良い経験になりました。
大学外の活動について	まず、前後期に学校主催で行われた研修旅行に参加しました。前期は自分のいたキャンパスからのみの参加でしたが、寧波、紹興へ行き、伝統的な水郷集落を見学したり、現地住民と交流して文化を学んだりしました。後期は二つのキャンパス合同で厦門へ行き、現地の食文化や慣習を学んだり、郊外にある伝統的な山岳集落を訪れ、世界遺産に登録されている土楼と呼ばれる建物を見学し、宿泊体験もしました。さらに現地はお茶で有名な福建省に属しているので、自由行動時には茶館と呼ばれる茶屋へ行き、中国茶についての理解も深めました。旅行後も引き続き中国茶に興味を持ち、学校の近くにあった茶城と呼ばれる茶店によく足を運びました。また、かねてから興味があった貿易港や卸売市場をを訪問し、中国経済急成長との関連について調べてみたりしました。
留学を志す人へ	まず、一番大切なことは留学前の準備です。例えば語学をしっかり学習しておけば、現地に行って困った際に助けを求めることができますし、文化を学習しておけば現地の人々とスムーズになじむことができ、友達も作ることができます。留学前や留学中に挫折してしまいそうになった時は、自分を信じ、根気強く目の前のことに集中して取り込むことが大事です。留学中は特に言語上、文化上の問題が非常に多く起きますが、自分の準備してきた知識で必死に伝えようとするので乗り切ることができます。しっかりと目標を立てて、準備をし、意欲的に挑戦してみましよう。

1週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	授業	予習	親戚訪問
	授業	授業	授業	授業	授業	復習	親戚訪問
午後	授業	授業	運動	授業	授業	運動	買い物
	授業	授業	運動	授業	授業	運動	買い物
夕刻	運動	交流活動	自由時間	交流活動	運動	交流活動	交流活動
夜	予習復習	予習復習	予習復習	予習復習	自由時間	自由時間	予習復習

